



岩崎みなこ (ネット・社民の会)

1. 樹木の維持管理の剪定、伐採とは
2. TIC (多摩市国際交流センター) の日本語支援のオンライン活用

- 問** 永山北公園等を市民の樹木医さんと調査した。園路近くに松枯れ・枯れ木など多く見られた。危険ではないか。
- 答** 市内全体で優先順位を決めて適切に処理している。
- 問** 市民に何かあったら責任はどこにあるのか。
- 答** 市にある。
- 問** 委託業者を見ると3年毎に入札しているも、結果は、15年間同じ事業者になっているエリアも多い。エリアを熟知しているのだから、数年先を予測した、計画的な管理をさせられるのではないか。馴れ合いになっていないか。
- 答** 現場の状況把握や今後の作業予定等を共有している。
- 問** 指名競争入札であるなら、契約の所管に現場を持つ所管は業者の仕事の実態・評価を伝えているか。
- 答** 業務内容の評価を実施し、契約担当課に伝えている。
- 問** コロナは5類になったが、オンラインは今後も活用される。TICにおける活用も重要ではないか。
- 答** 学習環境の障壁をできるだけ解消するという観点から有効であると認識している。



いぢち恭子 (ネット・社民の会)

1. 公園・緑地等の管理にかかわる業務委託について

- 問** 市内の公園を視察したところ、ナラ枯れで切った枝や折れた枝の放置、強すぎる剪定などが目についた。適切に管理しているのか。
- 答** ナラ枯れへの処置や剪定に関しては問題ないと認識している。多摩市は公園が多いため、市民が立ち入りやすい区域を優先して対応することになる。
- 問** 処理できていない箇所については、危険を知らせる貼り紙やロープ等を使って欲しい。公園管理の委託業者は指名競争入札のはずだが、同じ業者がずっと担当しているケースがあるのはどう考えればいいのか。
- 答** 不自然ではないと認識している。
- 問** 落札率を調べると、ほとんどが95～98%。市が設定した上限に近い金額での落札では、競争原理が働いていないのではないか。また、複数の業者が全くの同額で入札しているケースもあるが、不自然ではないか。
- 答** 不自然ではないと受け止めている。入札の金額については、同じアプリで積算した結果と推察する。



キノモクセイ (鶴ヶ峰公園)



本間としえ (公明党)

1. 老人福祉館・コミュニティセンター等における福祉的避難所の課題
2. 災害時医療連携について

- 問** 福祉的避難所になった老人福祉館・コミュニティセンターの役割、初動対応、備蓄、運営について伺う。
- 答** 実践的なマニュアル作成を検討し、市民へ周知し、福祉的避難所の開設・運営訓練を実施する。
- 問** 今後、見直しされる老人福祉館は、避難者の健康維持の為に、洗浄機付き便座や、介助を付き添いできるシャワー浴が可能なスペースを設置すべきではないか。
- 答** 限られたスペースの中で優先順位を検討する。
- 問** 老人福祉館3館の今後の在り方について伺う。
- 答** 地域拠点になり、多世代・多分野での地域の繋がりや、地域課題解決になる機能を持たせる方向で検討する。
- 問** 災害時医療連携のツールとして、LINE WORKSと安否確認システムの導入を提案するがいかがか。
- 答** 通信手段の整備は重要であり、調査研究する。
- 問** 発災時の指揮命令系統確立のために、実施すべき内容を整理し、アクションカードを導入してはいかがか。
- 答** マニュアルやアクションカード作成など検討する。



しのづか元 (多摩みらいの会)

1. 子ども最優先のまちをめざして
2. 「共に生きる」を実感できる多摩市へ

- 問** 国は「こども誰でも通園制度」、都は「多様な他者との関わりへの機会の創出事業」の実進を進めている。多摩市ではどのようにこの取組みを活用していくのか。
- 答** 今後、幼稚園長会、保育園長会とも協議をする中で、どのような使い方ができるか、検討を進める。
- 問** 東京都が独自で、新たな学校整備を必要としない不登校の施策を進めている。積極的にこれに手を挙げ、不登校対策を進めるべきと考えるがいかがか。
- 答** バーチャルラーニングプラットフォームと併せ、学びの保障や選択肢が増える効果が想定できる。今後、東京都との具体的な相談に入っていく。
- 問** インクルーシブ教育は、障がいのある人もない人も、共に育ち、学び、働き、暮らしていく事のできる共生社会には欠かせない。教育長の見解を伺う。
- 答** 全ての子どもがそれぞれに合わせた必要な支援を受けつつ、共に関わり合いながら学ぶことは重要。共生社会の実現のために欠かせないものであると考える。

